

History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

No. 42

新野家を再興した左馬助親良

井伊家11代藩主直中は、井伊家にゆかりのある名跡を復活させている。その一つが「新野左馬助家」の再興である。直中の十男(後の親良)は、家老木俣家の養子に入るが、天保元年(1830年)に分家して新野左馬助親良と名乗り、後に井伊直弼の家老となる。

直弼が暗殺された「桜田門外の変」(1860年)の後、彦根藩は京都守護を解任され、10万石の削封処分となった。しかし、「天誅組の変」(1863年)には、親良率いる彦根藩が大和国(現在の奈良県)に出兵し、尊皇攘夷派の武装集団「天誅組」を壊滅させた。長州藩を京都から追放した「禁門の変」(1864年)においても、彦根藩が御所の門を固めるなど、軍事面での活躍が目立つ。

親良の最も重要な功績は、「王政復古の号令」で、彦根藩の藩論が新政府、旧幕府どちらにつくかで割れるなか、新政府につくべきとの主張を通したことにある。親良は、このように幕末の緊迫した情勢下において、家老として重要な役割を担った。

照会 社会教育課 ☎0537-298735



▲彦根城内新野氏屋敷図(新野家蔵)



新野家屋敷
(現在の彦根東高校)

▲「彦根御城下惣絵図」(彦根城博物館蔵)

大河ドラマ「おんな城主 直虎」
応援プロジェクト

Atomic

暮らしと原子力

浜岡原子力発電所の
建設申し入れから50年

― 当時を振り返って ―

↑ ↓

1960年代に日本が高度経済成長を迎える中、旧浜岡町は農業以外に目立った産業がなく「県政の谷間」と呼ばれた地域でした。財政力指数(※1)も1965年(昭和40年)には0.32でした。(平成29年度は1.01)

設受け入れの用意があることを表明。発電所建設に向けて動き出すこととなります。(次号へ続く)

※1 財政力指数・・・自治体の財政力を示す指標。数値が高いほど財政状況に余裕がある状態。

※2 低開発地域工業開発促進法・・・産業の開発程度が低く、かつ経済の発展が停滞的な地域の工業開発を促進し、雇用の増大や地域間における経済的格差の縮小を図る法律。



昭和40年代前半の
発電所建設前の様子